

<様式1> 管理運営状況評価書

【対象年度:平成26年度】

( ①歴史・文化施設 )

I 施設概要・利用情報

(単位:人、%、円、日)

施設名		掛川市清水邸	担当課名	文化振興室
区分		内容・説明		
1 施設及び指定管理者の状況	(1)設置条例名	掛川市清水邸条例		
	(2)施設設置目的	清水邸の自然、文化及び歴史を市民に広く開放するとともに、茶道文化の普及及び伝承を図り、もって市民文化の発展に寄与する。		
	(3)施設が有する設備、機能の概要	清水邸庭園:面積2,869㎡、茶室「湧水亭」:建築面積154.82㎡。茶室の呈茶は有料であるが、庭園は無料で公開している。		
	(4)施設建設年度	平成4年度		
	(5)耐震性能の有無	有り		
	(6)将来予想される改修経費 (想定年度と費用見込み)			
	(7)指定管理者名	掛川観光協会大須賀支部		
	(8)指定期間	平成26年4月1日 から 平成29年3月31日 まで		
	(9)施設の管理運営形態	①指定管理料のみによる運営		
	(10)自主事業の有無	<input type="checkbox"/> 実施あり <input checked="" type="checkbox"/> 実施なし    ※実施ありの場合は、収支状況をⅢ-(3)欄に記入のこと。		
(11)その他事業の有無	<input type="checkbox"/> 実施あり <input checked="" type="checkbox"/> 実施なし    ※実施ありの場合は、収支状況をⅢ-(3)欄に記入のこと。			
(12)事業報告書提出の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 提出あり(地自法第244条の2第7項による提出義務) <input type="checkbox"/> 提出なし			
(13)利用者満足度調査等実施の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 実施あり <input type="checkbox"/> 実施なし    ※実施ありの場合、(直近の実施年度 平成26年度)			

区分		H24実績	H25実績	H26実績	H27当初	備考	
2 利用状況	(1)施設利用者数	(目標値)	-	-	2,490	2,346	※協定書に記載した要求水準値を記入してください。
		(実績値)	3,046	3,388	3,532		
	内訳 (施設・設備ごと)	入館者	2,447	2,268	2,454		
		使用者	599	1,120	1,078		
	(2)稼働率(利用率)						↓備考欄に算定式を記入してください↓
	(施設・設備ごと)	A平日昼間			87.5%		入館者日数(168日)／開館日数(192日)
B平日夜間				-			
C土日祝昼間				98.3%		入館者日数(113日)／開館日数(115日)	
D土日祝夜間				-			
区分		H24実績	H25実績	H26実績	H27当初	備考	
3 管理・運営状況	(1)指定管理者名						※1-(7) 現在の指定管理者と異なる年度のみ記入
	(2)利用者一人当たりの運営経費		907	871	771		
	(3)運営日数		308	307	307	309	
	(4)運営人員	①正規職員	0.0	0.0	0.0	1.0	※指定管理者の組織構成員全体の人数ではなく、当該指定管理施設で働いている実人数を記入してください。
		②臨時職員	1.0	1.0	1.0	9.0	

Ⅱ 施設管理に係るコスト情報

(単位:円、%)

区分		H24決算額	H25決算額	H26決算額	H27当初予算額	備考
(1)運営コスト(A)	①人件費	1,829,735	2,027,395	1,987,860	2,213,890	
	②印刷費	0	0	9,234	36,000	
	③通信費	95,946	98,733	105,493	100,211	
	④事務用品、旅費、図書費など	42,112	63,835	82,799	90,000	
	⑤借上料	0	0	0	0	
	⑥保険料、消費税(租税公課)等	22,382	16,099	5,972	6,000	
	⑦その他(支払手数料、広告宣伝費、一般管理費、雑費)	773,246	746,231	530,984	634,451	
	計	2,763,421	2,952,293	2,722,342	3,080,552	
	対前年度増減率		6.8	△ 7.8	13.2	

区分		H24決算額	H25決算額	H26決算額	H27当初予算額	備考
(2)施設コスト(B)	①管理委託費(外注費)	2,281,440	2,313,990	4,949,448	4,793,448	
	緑化管理業務	1,607,760	1,607,760	4,041,296	4,040,000	
	防犯・防火管理業務	147,420	147,420	151,632	227,448	
	空調機保守業務	0	32,550	31,104	0	
	池清掃管理業務	526,260	526,260	526,296	526,000	
	庭園清掃業務	0	0	199,120	0	
	②修繕費	462,984	215,587	197,954	250,000	
	③光熱水費	292,155	318,130	301,256	246,000	
	④燃料費	0	0	0	0	
	⑤清掃費	0	0	0	0	
	⑥保守点検費	0	0	0	0	
⑦その他(施設消耗品)	0	0	0	0		
計	3,036,579	2,847,707	5,448,658	5,289,448		
対前年度増減率		△ 6.2	91.3	△ 2.9		
(3)トータルコスト(施設管理費 合計) (A) + (B)	5,800,000	5,800,000	8,171,000	8,370,000		
(4)合計のうち運営コストの割合	47.6	50.9	33.3	36.8		
(5)施設の収入 ※1)下記3に入力する	1,170,050	1,060,500	1,124,490			
(6)運営コストのうち利用料収入の割合	42.3	35.9	41.3			

Ⅲ 収支差額の状況 注【指定管理料施設は(1)欄に、利用料金制度又は両制度併用施設は(2)欄に記入。また、自主事業を実施している施設は(3)欄に記入】

(1)指定管理料のみで運営している施設

(単位:円)

区分	H24決算額	H25決算額	H26決算額	備考
a) 施設使用料収入	1,170,050	1,060,500	1,124,490	※施設使用料は、掛川市へ収入される
b) 指定管理料	5,800,000	5,800,000	8,171,000	
収支差額 a)－b)	△ 4,629,950	△ 4,739,500	△ 7,046,510	

(2)利用料金制度施設又は指定管理料・利用料金併用制度施設

(単位:円)

区分	H24決算額	H25決算額	H26決算額	備考
a) 施設利用料金収入				※施設利用料金は、指定管理者へ収入される
b) 収支差額( a－トータルコスト)				
c) bに対する市の支出額(指定管理料)				

(3)自主事業及び指定事業・その他事業の状況

(単位:円)

区分	H24決算額	H25決算額	H26決算額	備考
a) 自主事業の収入	683,650	656,650	0	
b) 自主事業の支出	592,381	599,192	0	
収支差額 a)－b)	91,269	57,458	0	
c) その他事業の収入				
d) その他事業の支出				
収支差額 c)－d)	0	0	0	

## IV 担当課による評価

## (1) 施設設置目的の達成度

点数	評価基準	評価	改善を要する点(何を、いつまでに、どのように)
3	設置目的を達成できている		2
2	設置目的をほぼ達成できている。		
1	設置目的を一部達成できていない。		
0	設置目的を達成できていない。		

## (2) 協定書に記載した業務要求水準の達成度 &lt;達成 3点、未達成 0点&gt;

評価項目	要求水準	実績	評価	改善を要する点(何を、いつまでに、どのように)
A 施設全体の満足度			3	
B サービス内容の満足度			3	
C 従業員対応の満足度			3	
D 施設安全対策の満足度			3	
E 美観・清潔感の満足度			3	
F 施設の利用者数			3	

※協定書の業務要求水準及び実績を記載し、評価については要求水準に達していれば3、達していなければ0としてください。

## (3) 収支の改善状況

点数	評価基準	評価	改善を要する点(何を、いつまでに、どのように)
3	黒字である。		0
2	収支均衡している。／前年度より収支差額が縮小(改善)している。		
1	赤字である。／前年度と同等の収支差額である。		
0	大幅な赤字である。／前年度より収支差額(赤字)が増えている。		

(4)安全対策・危機管理体制など

点数	評価基準	評価	改善を要する点(何を、いつまでに、どのように)
3	利用者の安全対策や危機管理体制は万全である。	2	* 特に危険な箇所はないが、危険箇所がないかを日頃から確認し、急な事故等の対応を常に心得ておくこと。
2	万全とは言えないが、事故等が発生する確率は低い。		
1	安全対策・危機管理体制は整っているが、昨年度事故等が発生している。		
0	利用者の安全対策や危機管理体制に不備があり、改善が必要である。		

(5)本施設(事業)の継続性と行政の関与について

点数	評価基準	評価	改善を要する点(何を、いつまでに、どのように)
3	民間が実施できる事業であり、行政が実施しなくてよい。 (施設の貸付、売却、譲渡、独立採算制などを検討)	1	* 収支の改善は必要である。(特に収入面の検討が必要。)
2	民間が実施できるが、行政の関与が必要である。 (直営化、一定額指定管理料制度など)		
1	現在の指定管理で良いが、大幅な経営改善が必要である。 (独立採算制、一定額指定管理料制度への移行など)		
0	民間では実施できない、担い手がないため、行政がやるべきである。 (直営化、収支差額補てん型指定管理者制度など)		

(6)総合評価

点数	評価基準	評価	改善を要する点(何を、いつまでに、どのように)
3	本施設の指定管理者として、特に優れている。最適である。	2	* 地元の方々と協力し、実行しており、特に問題はない。
2	本施設の指定管理者として、問題はなく適当である。		
1	本施設の指定管理者として、やや劣っている。改善を要する。		
0	本施設の指定管理者として、著しく劣る。適当でない。		

合計	25	/ 33
----	----	------

V その他自由意見

--